

健康ワンポイントアドバイス

発行：十日町市中魚沼郡医師会

発行日：令和元年7月発行

第204号



風疹について

(社) 清津福社会 上村診療所 所長 上村 斉 先生

〈風疹とは〉

風疹ウイルスによって引き起こされる発疹性感染症です。感染した人の鼻やのどの分泌物に含まれるウイルスが咳などによって排出され、ほかの人がこれを吸い込むことで、ヒトからヒトへ感染が伝播します。感染力が非常に強く、インフルエンザの2倍から4倍ともいわれています。症状は不顕性感染（まったく症状がない）から、高熱や発疹が長びき、関節痛を認める場合や、まれに重症化することもあります。また、風疹に対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、先天性風疹症候群の子供が生まれてくる可能性が高くなります。

〈かかった場合〉

感染すると2～3週後に発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。症状は、小児の場合比較的軽いことが多いのですが、まれに脳炎、血小板減少性紫斑病などの合併症があります。妊婦が感染した場合、眼や心臓、耳そして精神に障害をもつ（先天性風疹症候群）子どもが出生することがあります。

〈風疹の治療〉

ウイルスに対する治療薬はありません。ワクチン接種が発症予防に有効です。

〈風疹の流行状況〉

風疹は5年ごとの周期で流行し2012-2013期には14,357人が感染し、男性10,985、女性3,372人と大流行しました。うち先天性風疹症候群の新生児が44名報告されています。また、2018年7月から関東地方を中心に風疹の患者数が大幅に増えており、患者の多くは30代から50代の男性です。

〈流行の理由〉

日本では、昭和52年から女子中学生のみを対象として学校での定期集団接種が始まりました。平成6年からは対象が男女に広がりましたが、医療機関での個別接種に変更さ

れ、接種していない人が増えました。平成 18 年からは麻疹風疹混合ワクチンが定期接種に導入され 1 歳と小学校入学前の 2 回接種となり接種率が高くなりました。こうした過去の変遷から、30 代から 50 代の男性は風疹の免疫（抗体）が他の年代（男女とも）が 95%前後であるのに対し、75%程度つまり 4 人に 1 人は免疫がなく感染しやすい状況であることがわかっています。

〈風疹の抗体検査とワクチン〉

そこで、厚生労働省による風疹追加的対策において、2019 年（本年）から 2022 年 3 月 31 日までの 3 年間、1962(昭和 37)年 4 月 2 日から 1979（昭和 54）年 4 月 1 日生まれの男性を対象に、風疹の抗体検査を原則無料で提供し、風疹に対する抗体値が十分でない（低い）方については、風疹の予防接種を予防接種法上の定期接種として原則無料で実施する方針が示されました。対象者は、市区町村より発行されるクーポン券を用いて、抗体検査そして抗体低値者は予防接種を受けることができます。本年度、十日町市と津南町では、1972（昭和 47）年 4 月 2 日生まれから 1979（昭和 54）年 4 月 1 日生まれの方を対象として、抗体検査と予防接種が無料となるクーポン券を発送しています。

抗体検査は、事業所の健康診断や人間ドック、市町村の住民健診でも受けることができますので、クーポン券が届いた方は、是非活用し風疹の感染、蔓延を防ぎたいものです。詳細や質問は、十日町市健康づくり推進課、津南町福祉保健課、やかかりつけの診療所、または健康診断実施機関にお尋ねください。

